

本推進会議における指摘事項と対応について

No	指摘事項	対応
第1回草津市自殺対策推進会議(R5.7.13)		
1	自殺対策に繋がる取組として、SNSを活用した取組ができないか。	自殺対策におけるデジタル化の推進について、計画に明記しました。(P4)
第2回草津市自殺対策推進会議(R5.9.22)		
2	基本方針2における評価指標は、ゲートキーパーに関する内容だけでなく、基本施策2健やかなこころをはぐくむに関連する内容を挙げたほうがよい。(P36)	ゲートキーパーに関してはアウトプットとして認知度を指標とし、新たに「こころの健康づくりの啓発の機会数」を指標として挙げました。
3	基本方針3における評価指標として、自傷行為による出動件数(消防局統計)が挙げられているが、未遂により関係機関等の支援に繋がるきっかけも含めた数であるため、削除してはどうか。(P36)	削除しました。
4	市ホームページ上に、自殺対策の関係機関のホームページのリンクがあると、情報にアクセスしやすい。	本推進会議で御意見をいただき、対応してまいります。
5	社会資源の情報にアクセスしやすいプラットフォームがあるとよい。	本推進会議、自殺対策関係課会議を通して、市民やゲートキーパーが社会資源の情報にアクセスしやすい体制整備に向け、課題の共有や検討を行ってまいります。

議会における指摘事項と対応について

No	指摘事項	対応
1	SDGs 表記について、記載の2目標以外にも関係する目標があるため記載してはどうか。(P4)。	目標「1. 貧困をなくそう」「4. 質の高い教育をみんなに」「5. ジェンダー平等を実現しよう」「8. 働きがいも経済成長も」「10. 人や国の不平等をなくそう」「11. 住み続けられるまちづくりを」「16. 平和と公平をすべての人に」を新たに追記しました。
2	死因順位別にみた年齢階級別死因割合の表内の 10～14 歳は全て同じ率となっているが、なぜ自殺を 1 位としているのか。若者の自殺が死因順位として上位に挙がるのは、しっかりした医療ができているからこそでもあると考えられ、この図や文章における表現はミスリードに繋がりがかねない。(P11)	本表については、滋賀県自殺対策計画に掲載されている表を用いておりますことから、本計画におきましても、県と同様の掲載とさせていただいておりますが、同率個所については注釈を入れさせていただきました。
3	自殺対策の推進における各主体の役割として、教育機関の役割に掲載されている教職員に対する取組については、雇用者等、別の機関の役割になるのではないか。(P66)	文中の「教職員」を削除しました。
4	事業 No39「近所力アップ講座」の事業内容について再考すべきではないか。(P45)	事業内容について、「市社会福祉協議会が地域に出向き、より身近な福祉の専門職として、住民同士の日頃からのつながりの大切さを伝え、住民の方々とともに地域福祉活動の大切さを語り合います。」としました。